

令和6年7月1日(月) 令和6年度 第4号



さいたま市立泰平中学校

学校だより

さいたま市北区本郷町 1991 電話：048 (651) 4134

【教育目標】

豊かな心を持ち実践力のある生徒の育成

【目指す生徒像】

季節の花と明るい挨拶にあふれ、
生徒一人ひとりの夢と生きる力を培う学校
－大好きTAIHEI－

「体験活動をととして」

校長 宮内和典

これから始まる水泳の授業に備えて、6月11日・12日にプール清掃を行いました。この2日間は、夏に向かって季節が進んでいると思わせる天気となり、陽の光にも強さを感じる、プール清掃には、ちょうどよい気候だったと思います。早速、水を抜き、1年間、放置されたプールの底を見ると「ここまで汚れているか」と、ため息が出るほどでした。しかし、生徒は嫌がる様子もなく、各々がデッキブラシやたわしを持ち、我先にとプールの底や壁を磨き始めてくれ、さすが泰平中生と感心しました。私もウエットスーツに着替え、微力ながらお手伝いをさせていただきました。高圧洗浄機を使いプールの底を磨いていましたが、ふと顔を上げ周りを見渡すと、更衣室やトイレを気持ちよく使えるように掃除してくれる人、プールサイドを磨いてくれる人、溜まっていた泥や落ち葉を集め外まで捨てにいく人、排水のつまりを解消する人と、一人ひとりがプールをきれいにするという目的を共有し、一生懸命に、そして楽しみながら取り組んでいる、素晴らしい光景を見ることができました。また、生徒と共に活動することで、終わった後の達成感を一緒に味わうことができ、とても充実した時間を過ごすことができました。きつい仕事でも、においや汚れがあっても、全校のために頑張ってくれた、体育委員、男子バスケット部、サッカー部の皆さん、ありがとうございました。

さて、泰平中では日々の教育活動において、生徒に獲得させたい価値や目的をもって教育活動をおこなっていますが、このプール清掃も生徒にとって学びの多い活動だと思います。例えば、自身の役割や任務を全うしようとする中で学が責任感や、人に感謝されてやりがいを感じる奉仕の心などが挙げられます。さらには、生徒の活動に取り組む様子を見てみると、文部科学省も学習指導要領で示しているとおり、受け身ではなく自分から積極的に動ける「自主性」さらに一段上の、今の時代に求められている「主体性」につながる活動であったと思います。

先日、本校では学校運営協議会が開催されました。この学校運営協議会では、昨年度から、地域と連携し、地域のボランティア活動への本校生徒の参加を推進してきました。本年度も、地域と連携し、ボランティア活動に積極的に取り組んでいきたいと考えております。今後、本校の生徒が地域のボランティア活動に参加していく中で、保護者や地域の皆様からも「この活動や体験から、生徒は何を学んだか」ということを、生徒との対話をととしてともに考えていただき、成長を支えていただければと思います。泰平中は、今後も、このような教育活動を引き続き行っていきたいと考えております。

「学校総合体育大会」

県大会に進むことが決まった、生徒の皆さんおめでとうございます。上位大会での活躍を期待しています。残念ながら、負けてしまった生徒の皆さん、「負ける悔しさを知っている人間は強くなれる」という言葉があるように、さらに、この大会をととして皆さんを成長させてくれるのではと私は思っています。この大会では、感動の場面や涙を流した場面があったと思います。それは、目標を定め、それに向かって一生懸命取り組んだからこそ、得られた経験だと思います。たくさんの感動や涙を流したことは中学生時代で体験する一つの“宝物”だと私は思っています。